

特集
肌と体の
リフトアップ術

みんな悩んでいます。

加齢のサイン 「たるみ」は40代後半から 加速します。

「つ」の間に、こんなにお尻が垂れちゃったの？ よく見ると、ほうれい線も伸びたような――。

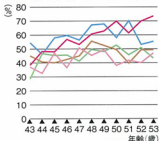
ふとした瞬間に、自分の顔や体のボディラインのたるみに気づいて、ショックを受ける。40代以降、誰もがそんな経験をしています。たるみはなぜ、起こるのでしょうか？

「顔も体も、筋肉が皮膚や脂肪などの皮下組織を支えています。けれど、年齢とともに使わない筋肉は萎縮し、皮膚や脂肪を支えきれなくなるのです」と話すのは衣理クリニック表参道（東京都港区）院長で美容皮膚科・内科医の片桐衣理さん。「体は脂肪の量が増えると、よりたるみやすくなります。一方、顔は紫外線などで表皮も老化。たるみが目立つ

撮影（全孝純） スタッフ（高橋麻美、イサト） 脚本（西原典子、入田） 三浦貴典（第四）
取材文／福田由子、西山由平（白根心也編集） 村上重実（監修）

40代後半からは 顔のたるみで加齢を実感

顔(■シワ ■肌のたるみ)
体(■お腹 ■お尻 ■わき、わき腹)



40～50代の女性1443人に「あなたの顔や体について、年齢を感じるのとはどんなことですか」と尋ねたところ、40代前半では4～5割の「肌のたるみ」が年齢と共に6～7割に増加。40代後半では「お腹」「お尻」が気になる人も増える。「日経ヘルス プルミエたるみ調査」

「日経ヘルス プルミエたるみ調査」 調査概要

日経ヘルス プルミエと日経BPコンサルティングが2011年8月にインターネットで実施。全国の40～60代女性1443人から回答を得た。

ようになるのです(片桐さん)。放っておけばたるみは進む一方。日経ヘルス プルミエが40～50代女性1443人に実施した調査でも、たるみが気になるという人は年齢と共に増えています。肌と体、それぞれに合わせたリフトアップを始めましょう！

「胸やお尻はたるむと分かっていましたが、ひざもたるむとは――」51歳



片桐衣理さん
衣理クリニック表参道院長
自ら体験し、十分な効果を確認できた方法のみ提供することをポリシーとした治療が評判。肌を根本から立て直すことを目的としたコスメの開発も。
www.eri-clinic.com



「日経ヘルス プルミエ」は、日経ヘルスと日経BPコンサルティングが共同で実施する、全国の40～60代女性を対象とした調査です。調査結果は、毎月発行される「日経ヘルス」に掲載されます。